

研究業績目録

阿部幸泰

- 1)阿部幸泰他：重症心身障害児のコミュニケーションに関する調査，
重症児の指導部門に関する共同研究，国立療養所西多賀病院，1967.
- 2)阿部幸泰他：重症心身障害児（者）の移動運動に関する調査，重症児の指導部門に関する共同研究，
国立療養所西多賀病院，1969.
- 3)阿部幸泰：重症児の発達について（1）－私達は、重症児をどうとらえるべきか－，
国立療養所西多賀病院，1970.
- 4)阿部幸泰：重症心身障害児（者）と教育権，看護と指導，国立療養所西多賀病院，1-1，51-54，1972.
- 5)菅井武夫、阿部幸泰他：病院における児童指導員の任務について，看護と指導，
国立療養所西多賀病院，1-1，48-50，1972.
- 6)阿部幸泰他：いわゆる重症児の知的活動の基礎について（1）－聴力検査の試みとその方法論的検討－，
第27回国立病院療養所総合医学会講演抄録集，3，930，1972.
- 7)阿部幸泰他：いわゆる重症児の知的活動の基礎について（2）－純音及び「社会音」聴力検査の試み－，
第28回国立病院療養所総合医学会講演抄録集，3，807，1973.
- 8)植村英晴、阿部幸泰：重症児の聴覚刺激に対する反応
－特に療育的観点からの聴力検査と反応の特徴について－，
日本特殊教育学会第11回大会論文集，184-185，1973.
- 9)阿部幸泰他：いわゆる重症児の知的活動の基礎について（3）－聴覚的刺激に対する発達の变化－，
第29回国立病院療養所総合医学会講演抄録集，3，525，1974.
- 10)阿部幸泰：重症児の精神発達診断の方法に関する研究－聴覚的発達について－，
厚生省心身障害研究昭和49年度研究業績報告書，143-145，1975.
- 11)阿部幸泰：重症児の発達促進と阻害因子の除去について，
精神薄弱児研究，213，24-31，1976.
- 12)阿部幸泰：いわゆる重症児の知的活動の基礎について（4）－快の情動行動の重要性について－，
第31回国立病院療養所総合医学会講演抄録集，3，484，1976.
- 13)湊治郎、阿部幸泰他：重症心身障害児の外来療育指導を試みて，
第31回国立病院療養所総合医学会講演抄録集，3，492，1976.
- 14)阿部幸泰：V. 療育－日常生活指導について－，
重症心身障害ハンドブック，社会保険出版社，57-64，1976.
- 15)保坂武雄、阿部幸泰：第4章国立療養所の役割の変化と今後の方向－重症心身障害児（者）の医療－，
国立療養所史（結核編），厚生省医務局国立療養所課，254-275，1976.
- 16)阿部幸泰：いわゆる重症児の知的活動の基礎について（5）－前腕の回内外運動について－，
第32回国立病院療養所総合医学会講演抄録集，3，506，1977.
- 17)湊治郎、阿部幸泰他：中央共同研究（Ⅱ）発達評価法の検討，
厚生省心身障害研究 昭和52年度研究業績報告書，5-12，1978.

- 18)阿部幸泰他：重症児の交信に関する研究（その1）－新評価法の作成－，
第33回国立病院療養所総合医学会講演抄録集，3，533，1978.
- 19)橋本憲夫、阿部幸泰他；重症児の交信に関する研究（その2）－チェックリスト案の適用と問題点－，
第33回国立病院療養所総合医学会講演抄録集，3，534，1978.
- 20)阿部幸泰他；重症心身障害児（者）の教育，国立療養所西多賀病院，1978.
- 21)中田ちよ子、阿部幸泰他：伝統的うた遊びの重症児への応用（1）－収集と発達促進要因の分析－，
第33回国立病院療養所総合医学会講演抄録集，3，533，1978.
- 22)阿部幸泰他：重症心身障害児（者）のコミュニケーションに関する実態調査（第2報），
厚生省心身障害研究昭和53年度研究業績報告書，318-321，1979.
- 23)山本りつ子、阿部幸泰他：看護を濃厚に必要とする重症児の教育と看護の関わりあい方，
厚生省心身障害研究昭和54年度研究業績報告書，219-220，1980.
- 24)阿部幸泰他：重症心身障害児（者）のコミュニケーションに関する実態調査（第3報），
厚生省心身障害研究昭和54年度研究業績報告書，213-216，1980.
- 25)阿部幸泰他：重症心身障害児（者）のコミュニケーションに関する実態調査，
昭和54年度国立療養所重症心身障害研究会分担研究報告書，1980.
- 26)橋本憲夫、阿部幸泰他：重症心身障害児（者）のいわゆる異常行動の研究
－教育的視点からみたいわゆる異常行動について－，
厚生省心身障害研究昭和54年度研究業績報告書，210-211，1980.
- 27)細淵富夫、阿部幸泰：重度・重複障害児の感覚・運動機能に関する事例的研究（その1）
－目と手を用いた外界との交渉の成立と拡大を中心に－，
日本特殊教育学会第19回大会論文集，286-287，1981.
- 28)上村等、阿部幸泰他：発達評価法の研究－発達評価表、発達評価の手引－，
昭和55年度国立療養所重症心身障害研究会「発達評価法に関する研究班」報告書，1981.
- 29)細淵富夫、阿部幸泰：重度・重複障害児の観察指導経過
－目と手を用いた外界との交渉の拡大に視点を置いて－，
国立療養所西多賀病院，1981.
- 30)村上由則、阿部幸泰：重度・重複障害者の認知機能に関する事例的研究－系列の認知を中心にして－，
国立療養所西多賀病院，1981.
- 31)阿部幸泰；いわゆる重症児の知的活動の基礎について（6）－概念行動について－，
厚生省心身障害研究昭和55年度研究業績報告書，254-256，1981.
- 32)橋本憲夫、阿部幸泰他：重症心身障害児（者）のいわゆる異常行動の研究
－教育的視点からみたいわゆる異常行動について（その2）－，
厚生省心身障害研究昭和55年度研究業績報告書，256-257，1981.
- 33)細淵富夫、阿部幸泰：重度・重複障害児の摂食行動の変容過程－接近行動の形成と分化について－，
日本特殊教育学会第20回大会論文集，238-239，1982.
- 34)阿部幸泰：ある重症児の観察・指導
－「首すわり、上肢のコントロール、人への反応の豊かさ」に視点を置いて－，
厚生省心身障害研究昭和56年度研究業績報告書，141-145，1982.

- 35)細渕富夫、阿部幸泰：重度・重複障害児における外界との関わり，
日本特殊教育学会第21回大会論文集，270-271，1983.
- 36)阿部幸泰：重い障害をもつ子どもへの援助のために－重症心身障害児教育入門－，自費出版，1984.
- 37)上村等、阿部幸泰他：重症心身障害児（者）の療育に関する研究
－排泄、摂食の自立に向けての日常生活指導のあり方を考える－，
厚生省心身障害研究昭和61年度研究業績報告書，47-59，1987.
- 38)阿部幸泰：特別寄稿論文－脳と育児－，創立40周年記念同窓会誌，
洲本市立青雲中学校，97 - 105，1988.
- 39)中村博志、阿部幸泰他：全国国立療養所重症心身障害児実態調査報告（1988年度），
昭和63年度厚生省心身障害児（者）の医療療育に関する総合的研究・報告書，145-166，1990.
- 40)阿部幸泰他：「大島の分類」横軸（姿勢・移動）に関する判別基準作成の試み，
平成元年度厚生省心身障害児（者）の医療療育に関する総合的研究・報告書，152-156，1990.
- 41)中村博志、阿部幸泰他：全国国立療養所重症児病棟における重症児（者）の実態とその分析，
平成元年度厚生省心身障害児（者）の医療療育に関する総合的研究・報告書，157-167，1990.
- 42)中村博志、阿部幸泰他：国立療養所重症心身障害病棟入院中の重症心身障害児（者）の年齢別・大島の
分類別平均身長、平均体重値，
プログラム抄録，12，第16回重症心身障害研究学術集会，1990.
- 43)阿部幸泰、林信治：特別掲載論文－重症心身障害児（者）の略称・略語についての考察－，
全国国立療養所児童指導員協議会重症心身障害児（者）部会，25，90-110，1991.
- 44)阿部幸泰：総合指定シンポジウム（S-2）、重心病棟入所者の成人化とその対策
－指導員の立場より－，医療の広場，32-6，42-45，1992.
- 45)阿部幸泰：重症心身障害児の発達と援助，講演収録，岩手県立高等学校特殊教育部研修会，1992.
- 46)中村博志、阿部幸泰他：国立療養所重症児病棟職員のための自己チェックリスト，
両親の集い，443，13-16，1993.
- 47)飯田良子、阿部幸泰他：日常生活援助場面から重症心身障害児（者）のQOLを考える
－食事場面検討資料集（案）－，
平成4年度厚生省心身障害児（者）の医療療育に関する総合的研究・報告書，99-129，1993.
- 48)古館互、阿部幸泰他：「大島の分類」縦軸に関する判別基準作成の試み，
平成4年度厚生省心身障害児（者）の医療療育に関する総合的研究・報告書，130-135，1993.
- 49)中村博志、阿部幸泰他：重症心身障害児病棟における総括的療育内容に関する研究
－自己チェックリストの作成に向けて－，
平成4年度厚生省心身障害児（者）の医療療育に関する総合的研究・報告書，143-148，1993.
- 50)西田歳明、阿部幸泰他：動く重症児（者）の実態調査研究，
「動く重症児（者）の実態調査研究」研究委員会，
国立療養所中央研究 管理研究 平成4年度研究業績報告書，1993.
- 51)鈴木孝、阿部幸泰他：動く重症児（者）の実態調査研究，
「重症心身障害児（者）の実態調査分析」研究委員会，
国立療養所中央研究 管理研究 平成6年度研究業績報告書，1995.

- 52)中井博史、阿部幸泰他：ダウン症の小児科乳児教室の開設，
第 50 回国立病院療養所総合医学会講演抄録集，3，657，1995.
- 53)橋本憲夫、阿部幸泰他：先天的障害をもつ乳児に対する系統的療育支援システム（乳児教室）の確立に
ついて，読売愛と光の事業団第 25 回愛のプレゼント，
重症心身障害児（者）の療育に関する研究助成金報告書，25-37，1997.
- 54)須藤睦子、阿部幸泰他：重症心身障害児（者）の医療・療育の改善と施設間協力に関する研究，
平成 8 年度国立療養所東北地区（協同）研究業績報告書，1996.
- 55)岡田美穂、阿部幸泰他：重症心身障害児（者）に関する研究，
平成 9 年度国立療養所東北地区（協同）研究業績報告書，1996.
- 56)神藤正、阿部幸泰他：宮城県内在宅重症心身障害児(者)の在宅介護のニーズと今後の在宅支援対策に
ついて，読売愛と光の事業団第 27 回愛のプレゼント，
重症心身障害児（者）の療育に関する研究助成金報告書，47-54，1999.
- 57)阿部幸泰：第 7 章運動障害、障害児教育の基礎と展望，コレール社，97-108，1999.
- 58)岡田美穂、阿部幸泰他：超重症児状態から漢字を思い出すまでに回復した脳炎後遺症の一例，
日重障誌 25（2），67，2000.
- 59)阿部幸泰：重症心身障害児（者）と日々係わって 30 年—その軌跡と想い—，自費出版，1999.
- 60)菊池紀彦、阿部幸泰他：大島の分類に準拠した療育アプローチのためのグルーピングについて，
厚生省精神・神経疾患研究，重症心身障害児（者）のリハビリテーション
及び QOL の向上に関する研究委託費，平成 12 年度研究報告会，抄録集，8，
2000.
- 61)渋川信、阿部幸泰他：超重症児のマニュアルについて，
厚生労働省国立病院・療養所共同研究，政策医療分野（重症心身障害），重症心身障
害情報ネットワークシステムの開発・管理と超重症児（者）のケアシステムに関する
研究，平成 12 年度総括研究報告書，33-35，2001.
- 62)菊池紀彦、阿部幸泰他：超重症児状態より劇的回復を示したある男児の社会復帰に向けた支援方略の
検討（1），
第 56 回国立病院療養所総合医学会講演抄録集，1，134，2001.
- 63)三橋道子，阿部幸泰他：生活棟における保育のあり方—4 年間の実践をとおして—，
第 56 回国立病院療養所総合医学会講演抄録集，2，285，2001.
- 64)田代裕子，阿部幸泰他：スヌーズレンを取り入れた保育の実施—反応行動についての検討—，
第 56 回国立病院療養所総合医学会講演抄録集，2，286，2001.
- 65)阿部幸泰他：重症心身障害児（者）とのコミュニケーション（「やりとり」）の検討，
大島の分類に準拠した療育アプローチのためのグルーピングについて，厚生労働省精神・
神経疾患研究委託費，分担研究「超重症児のケア・療育に関する研究」大島の分類に準拠
した療育アプローチのためのグルーピングについて—超重症児を中心に—付帯資料，国立
療養所西多賀病院，2001.
- 66)阿部幸泰：改訂版・重い障害のある子どもへの援助のために—重症心身障害児教育入門—，
自費出版，2002.

- 67)阿部幸泰：単に「係わる」だけでなく「係わり合う」ことの意味、
2002年度「係わり合いを考える」実践検討会報告書「機微」,創刊号,1-2,
宮城教育大学障害児教育講座・藤島研究室,2003.
- 68)阿部幸泰：現代社会の障害児観の一面の検証ー最近のマスコミ記事からー,
2003年度「係わり合いを考える」実践検討会報告書「機微」,2,1-3,
宮城教育大学障害児教育講座・藤島研究室,2004.
- 69)阿部幸泰：人の「自己の存在」の概念構造に関する一考察,
2004年度「係わり合いを考える」実践検討会報告書「機微」,3,3-6,
宮城教育大学障害児教育講座・藤島研究室,2005.
- 70)阿部幸泰：ある幼少の自閉児のご家族との「係わり合い」の実践経過、
障害児教育学研究、11-2,16-21,2008.

(2008年7月 更新 記)